



医歯学総合研究科大学院特別講義／お茶の水ニューロサイエンスセミナー
(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)
(生命理工医療科学先端研究特論)(医歯理工学先端研究特論)

ロバストネスの破綻の観点からの ALS の分子機構

演者

小野寺 理 先生

新潟大学脳研究所 臨床神経科学部門 神経内科学分野教授

日時

2019年7月2日(火) 17:00～

会場

M&D タワー2階 共用講義室 1

講演要旨

ALS は TDP-43 の核外移動が病理学的特徴である。この TDP-43 はその核内量を厳密に維持する機構が存在する。このような機構は、工学系ではよく知られており、ロバスト性と言われる。ロバスト性は、一面、極めて脆弱な一面を持ち、ある種の要因に対しては極めて脆弱となる機構である。

本講義では、TDP-43 のロバスト性の破綻という観点から、我々の追及する ALS の分子機構を概説したい。

多数の皆様の御来聴をお願い申し上げます。

連絡先：脳神経病態学分野 横田 隆徳 03-3813-6111 内線 7251

ONSA (代表：神経病理学分野 岡澤 均)
事務局：神経機能形態学分野 (田口・寺田) phone: 03-5803-5149
FAX: 03-5803-5151, E-mail: onsa-office@umin.ac.jp